

めだかの庭

本誌の名前は、三九朗病院の中庭で飼っている『めだか』から名付けました。正面玄関を入ると、受付の横に中庭があります。6月頃から、睡蓮やブラシノキなどの花々が咲き、鳥が水場に休憩に訪れます。来院された際は、ぜひ、のぞいてみてください。



めだか
鉢の中にめだかがたくさん泳いでます。葉っぱの影に隠れていますので、探してみてください

ブラシノキ



オンシジューム



睡蓮
午前中にはきれいな花を咲かせてますが、昼過ぎには閉じてしまします



ヒメツルソバ



「ここに来て良かった」そんな施設をめざして

<http://www.sankuro.or.jp/>

めだか 5月号

さんくろうニュース
MEDAKA

2015年 (No.65)



巻頭 新入職員を紹介します

ナースの部屋 質の向上を目指して！ 看護のプロフェッショナル

広報誌名「めだか」は、当院の中庭でみんなに愛でられ育つめだかのように、親しんでいただきたいという思いから名付けられました。

めだか 65号 (2015年5月) 年4回 (2月、5月、8月、11月) 発行

表紙絵: 「デイジーと水遊び」坂尾 有美

発行責任者: 前田 實 発行: 医療法人 三九会
〒471-0035 愛知県豊田市小坂町7丁目80番地
TEL 0565-32-0282 (代) FAX 0565-35-2570

外来診療のご案内 サンク로우
診療予約専用 ☎0565-35-3960

三九朗病院
携帯サイト



医療法人三九会 三九朗病院



看護のプロフェッショナル

質の高い看護ケアを提供するために、看護部では、院外研修への参加や資格取得の支援など、看護師一人ひとりが看護の視野を広げ、知識・技術を向上させるための教育環境を整えています。また、得た知識・情報を発表する「伝達講習会」を開催し、互いに学び合う場をつくっています。

認定看護師などの資格取得をサポート

三九朗病院では、患者さまやそのご家族に対して質の高い看護を提供するほか、病棟スタッフのリスクマネジメント、多職種との協働とチームアプローチの実践を行うことができる看護師の育成を目指しています。資格取得を促すために、回復期リハビリテーション看護師認定コースなどの受講支援も行っています。

- 回復期リハビリテーション看護師認定コース認定 1名
 - 糖尿病療養指導士 1名
 - 認知症ケア指導管理士 3名
 - 医療安全者養成研修修了者 2名
- (2015年3月末現在)

声

回復期リハビリテーション看護師認定コースを受講して

認定コースを学んだことで、患者さんのQOL(生活の質)は、医療者が決めるものではなく、患者さま一人ひとりがどう感じるかであると改めて学びました。これまで、食事・着替え・排せつなどの介助では、自分たち看護師の基準で考え、リスクの低い動作を促していましたが、患者さまの気持ちに寄り添った介助であったのかを考えさせられました。今後は、患者さまの声に耳を傾け、患者さまの気持ちに寄り添ったサポートをしていきたいと思えます。(病棟看護師 K・O)

得た知識をスタッフ同士が学び合う「伝達講習会」

伝達講習会は、院外の勉強会や研修会で得た知識や技術を、お互いに発表し合い、情報共有をするための会です。発表するという経験の場になるだけでなく、分かりやすく伝えるために、発表者自身が、得た知識をより深く学ぶことにもつながります。



● 2014年度に実施した伝達講習会

開催	発表テーマ
8月 5日	・ 認知症高齢者の食事介助
12月 16日	・ 感染管理における看護師の役割を理解し、自施設に合わせた感染防止策を目指す ・ 認知症ケアの現場から～さまざまな最前線を学ぶ～
2月 3日	・ 認知症専門医から学ぶ“周辺症状”に振り回されないケア ・ 認知症ケア指導管理士(初級)
3月 18日	・ 看護必要度評価者院内指導者研修

声

「認知症高齢者の食事介助」の伝達講習会に参加して

認知症といっても、脳血管疾患やアルツハイマーなど病気の種類によって現れる摂食嚥下(※)障害が違うため、食事介助での観察ポイントが変わってくることを、改めて認識しました。それぞれの症状に合わせた食事の環境を検討していきたいと思えます。(病棟看護師 Y・K)

※ 食べ物を認識し、口に入れて胃に到達するまでの一連の過程をいう

日々、進化してゆく医療技術や高齢化社会に対応するため、常に新しい情報を取り入れ、スキルアップできるよう、継続して研修への参加や伝達講習会を行います。これからも、看護師一人ひとりが研鑽し、患者さまがよりよい入院生活を送れるよう、信頼される看護を提供していきます。

未来の療法士を育てる臨床実習

リハビリテーション部 部長 村田 元徳

理学療法士 (PT: Physical Therapist)・作業療法士 (OT: Occupational Therapist)・言語聴覚士 (ST: Speech Therapist) の養成校には、「臨床実習」というカリキュラムがあります。これは、療法士が働く病院や施設などの現場で、実際に患者さま・利用者さまと対面し、様々な知識・経験を身につけるもので、次の3つの種類があります。

●見学実習 (1週間)

療法士の仕事の確認、患者さまとの接し方、評価・測定の見学、学習意欲の向上を目的とした実習です。

●評価実習 (3～4週間)

見学実習の内容に「基本的な検査・測定の実施、治療プログラムの立案」

が加わります。

●総合臨床実習 (6～8週間)

評価実習の内容に「治療方法の実施」が加わり、療法士としての総合的な能力を身につけることを目指します。

臨床実習では机上の学習では学べない、多くの知識や経験を習得することができ、療法士になるモチベーションも高まります。

当院でも毎年約30名の実習生を受け入れ、未来の療法士の育成に尽力しています。病院での実習に加え、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの見学も行っています。

私たちも三九朗で実習しました!



左：松本 望 (4年目 理学療法士)
右：鈴木 裕二 (2年目 作業療法士)

学生のころ、三九朗病院での臨床実習を受けました。実習指導では先輩が丁寧に指導してくださり、職場の雰囲気も良かったので、就職先として希望しました。実習を経験した職場は、安心して就職することができました。(松本 望)

負担のかからない介助方法
& 家でできるリハビリ

No.9

麻痺のある方の着替えのポイント

リハビリテーション部 作業療法士 鈴木 裕二

三九朗病院では、「CI Therapy」を治療の一つとして取り入れています。CI Therapyとは、麻痺のない手を手袋などで動かさないようにし、食事などの日常生活の動作を麻痺のある手で行うことで、より麻痺側の回復を促す治療方法です。これまでにCI Therapyを行った方を調査してみると、麻痺が軽い患者さまでも、日常生活の中で麻痺のある手をなかなか使えておらず、特に服を着替えるときに十分使えていないことがわかりました。

麻痺のある手の回復には、生活の中で積極的に使うことが一番のリハビリになります。そこで今回は、着替えるときのポイントを紹介します。

Point 着替えのポイント (かぶり服)

麻痺が重い場合

頭を通した後も、肩に服が通っていないため、腰まで服を下ろせないことがよくあります



1 麻痺側の袖を通す際には肩まで服を回します



2 反対側の袖も通します



3 頭を通す際には頭を肩に近づけ、肩から頭を一緒に通していきます



4 服を下ろすと同時に身体を伸ばします

麻痺が軽い場合

麻痺側のある手に動かせる能力があっても、麻痺のない手だけでやってしまいがちです



1 袖を通すときは、服に合わせて手を伸ばします



2 反対の袖通しの際も、麻痺側で服を持ちながら行います



3 両手で服をつかんだまま頭を通します



4 両手を使って服の修正を行います

医療ソーシャルワーカー(MSW)から

MSW 高橋 邦代

介護保険で利用できるサービスとは？

介護保険ではどんなサービスを利用できるのか、よく分からないという方は多いのではないのでしょうか。今回は、介護保険のサービスをご紹介します。

介護保険で利用できるサービスには、次のようなものがあります。

●ヘルパーを頼む

トイレや入浴などの介助、一人暮らしの方の調理や掃除、洗濯の介助など、ヘルパーが自宅を訪問し、日常生活の中でできないことを手助けしてくれます。



●デイサービス・デイケアに行く

デイサービスでは、レクリエーションや体操、趣味の時間を過ごすことができます。デイケアでは、専門家によるリハビリを受けることができます。施設に行くことで、外出の機会を作り、筋力の低下を防ぎます。

●ショートステイを利用する

家族が留守のときに、特別養護老人ホームや介護老人保健施設、病院などに宿泊し、食事、排せつ、入浴など生活の介助を受けることができます。

●訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴を頼む

かかりつけの医師が必要性を認めた場合、看護師や療法士が自宅を訪問して身体の状態をみたり、リハビリなどを行ったりします。

そのほか、住宅改修や福祉用具の貸与などのサービスがあります。

! 2015年4月より介護保険法が変わりました。サービスの対象者や自己負担額が、これまでとは変わりますので、担当のケアマネージャーが豊田市介護保険課までお問い合わせください。

NEW!!

スタジオプログラムのご紹介

SHIN-SHIN とよたでは、スタジオで様々なプログラムを実施しています。今回は、4月から新たに始まったプログラム「スポ BAND」をご紹介します。一人ひとりに合った運動ができますので、ぜひ試してみてください！

スポ BAND

毎週水曜日 (11:30~12:00)
※変更になる場合がございます。
詳しくはお問い合わせください。

「spoband (スポバンド)」を使ってストレッチや筋トレなどを行います。

伸縮性のあるバンドは、タイプによって強度が異なるので、個人の筋力や実施する運動に合わせて使い分けができます！



スポバンド

●全身のストレッチ

全身をゆっくり動かすことで、普段使わない筋肉をストレッチすることができます。



●体幹トレーニング

体幹を鍛えると、基礎代謝が高まるほか、姿勢が良くなり腰痛・肩こりの改善にも！



●筋トレの補助

バンドの強度をあげれば、筋トレにもなります。



無料体験受付中です！ スタジオ参加もできます！！

- お問い合わせ：SHIN-SHIN とよた ☎0565-34-6272 (直通)
- 体験受付：10:00~19:00
- 休館日：日曜日



Facebook ページに「いいね！」してね♪